

| 授業科目 | *精神看護学実習(2022年度入学生) | | | | 実務家教員担当科目 | ○ | | | | | |
|-------------------------|---|-----|----|------|-----------|------|-------|-----|---|--------|----------|
| 単位 | 2. | 履修 | 必修 | 開講年次 | 3~4 | 開講時期 | 後期・前期 | | | | |
| 担当教員 | 前田 由紀子 | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | 精神科病棟に看護師として勤務した経験を活かし、より実践的な実習内容とする。精神科病棟における患者との対人関係を発展させ、日常生活を整える援助を通して看護の実際を学ぶ。患者のストレスに気づくとともに、セルフケア能力を高める看護を実践する。さらに、看護実践の過程を振り返り自己洞察しうる能力を養う。また、地域への自立支援にむけた看護活動の実際につれ、精神障がい者の地域生活支援について統合的な視点を身につける。 | | | | | | | | | | |
| 授業形態 | 実習：学生は教員および実習指導者の指導・助言を受けながら、主体的に実習に取り組む。 | | | 授業方法 | 実習 | | | | | | |
| 学生が達成すべき行動目標 | | | | | | | | | | | |
| 標準的レベル | <ol style="list-style-type: none"> 1. 精神に障害を持つ人への治療と治療的環境について理解ができる。 2. 精神に障害を持つ人への理解ができる。 3. 患者—看護者関係の発展過程を理解し、治療的かわりを学ぶ。 4. 精神に障害を持つ人を受け持ち、セルフケア能力をアセスメントし、必要な援助を行う。 5. 精神医療における社会復帰の現状および問題点と看護の役割・機能を理解する。 <p>精神に障害を持つ人を理解し、入院患者の治療と治療的環境について理解ができる。精神に障害がある人を受け持ち、患者—看護者関係の発展過程を理解し、治療的かわりを学ぶ。また、受け持ち患者のセルフケア能力をアセスメントし、必要な援助を行う。精神医療における社会復帰の現状および問題点と看護の役割・機能を理解する。</p> | | | | | | | | | | |
| 理想的レベル | 標準的なレベルをすべて網羅できたうえで、精神看護学実習を、積極的、主体的に実践できる。受け持ち患者以外にも精神病理（生物学的、力動的）と治療について理解し、セルフケア援助技術や方法を実践することができる。援助家庭の再構成を通して、学生自身の対人関係の持ち方について気づき、自己洞察をすることができる。地域で生活する精神障がい者を理解し、地域精神保健活動の課題と展望を考えることができる。 | | | | | | | | | | |
| 評価方法・評価割合 | | | | | | | | | | | |
| 評価方法 | 評価割合（数値） | | | | 備考 | | | | | | |
| 試験 | | | | | | | | | | | |
| 小テスト | | | | | | | | | | | |
| レポート | | | | | | | | | | | |
| 発表（口頭、プレゼンテーション） | | | | | | | | | | | |
| レポート外の提出物 | 55% | | | | 実習記録 | | | | | | |
| その他 | 45% | | | | 実習への取り組み | | | | | | |
| カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング | | | | | | | | | | | |
| DP1 | - | DP2 | ○ | DP3 | ○ | DP4 | ○ | DP5 | ○ | ナンバリング | NU31323J |

| 学習課題（予習・復習） | 1回の学習目安 (時間) |
|--|--|
| 実習前に事前学習として提示する。実習中は看護過程の展開、その他の記録物に沿って学習を進める。 | 0 |
| 授業計画 | |
| 第1回 | 閉鎖病棟または開放病棟において、原則として患者1名を持ち、病棟の看護体制に準じて精神看護学実習を行う。指定された2週間で、受け持ち患者の状態と病棟の状況に即して講義・演習で学んだ知識や方法を基に実践する。詳細は実習オリエンテーションで配布する「実習要項」を参照する。(前田由、矢治、新任) |
| テキスト | 必要に応じてプリントを配布する。 |
| 参考図書・教材 ／データ ベース・ 雑誌等の 紹介 | 精神看護学演習において配布したプリント 岩崎弥生, 渡邊博幸(編) 新体系看護学全書 精神看護学概論 精神保健 第6版 メヂカルフレンド社 岩崎弥生, 渡邊博幸(編) 新体系看護学全書 精神障害をもつ人の看護 第6版 メヂカルフレンド社 水谷緑 精神科ナースになったわけ イーストプレス 南 裕子(編/著) アクティブ・ナーシング 実践オレムアンダーウッド理論 こころを癒す(講談社) |
| 課題に対するフィードバックの方法 | 事前学習、レポート外の提出物(実習に関する記録)は、コメントを入れて返却する。実習内容、実習記録に関する課題は、個別指導やグループディスカッションにてフィードバックする。 |
| 学生へのメッセージ・コメント | これまでに学んだ精神疾患及び精神看護学に関する講義・演習の振り返りをしておく。 精神科看護に関する図書やビデオ学習、精神障がい者社会復帰施設などのボランティア参加・見学などの機会を活用して精神医療の理解を深めてください。 |